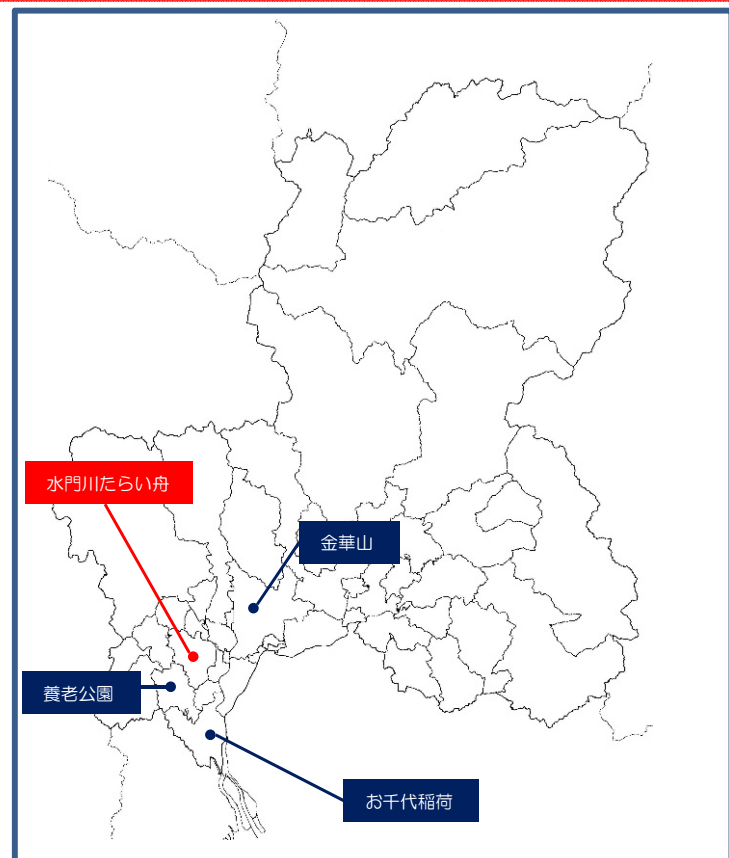




たらい舟からの紅葉を楽しむ乗船者ら ー大垣市船町 水門川

『水面にも錦秋、大垣のたらい舟 水門川で見ごろ』

- ・ 平年より2度ほど下回り、11月中旬頃の気温となった11月3日（祝）、水門川では「水の都おおがきたらい舟」が行われ、名古屋からの団体客など総計82艘のたらい舟が出船しました。この日は、青空が広がる絶好の行楽日で、たらい舟に乗った乗船者らは、ゆったりと揺られながら、緑の水草（セキショウモ）がたなびく川や川沿いの色づく紅葉を眺めながら、心地よい舟旅を楽しみました。
- ・ 船頭を務めた西濃水産漁業協同組合の男性組合員は「今年は、例年以上に乗船者が多い。近年、愛知県や関西方面からの来場者に加え、中国や台湾からの高齢者が目立つ。その背景として、金華山、水門川のたらい舟、養老公園、お千代稲荷、中部国際空港が一連のツアーコースになってるようだ」と語ってくれました。



清流に揺らめく、緑のカーテン 『セキショウモ』



川底に生い茂るセキショウモを眺めながら舟下り

- セキショウモは全国の湖沼、池、川などの流れのあるところに群生する沈水性の多年草です。

セキショウモは、葉の形がセキショウの葉に似ていることに由来し、漢字名で「石菖藻」と表します。根茎が泥中を横走り、葉は水深によって15～70cmになることもあります。花期は8～10月。

根の基部かららせん状の花柄が水面まで伸び、長さ1cm位の帯黄白色の小さな雌花をつけます。雄花は基部から水面上を漂い小媒花します。

出典：超水槽図鑑

水の都おおがきたらい舟 年間3,700人が体験！

- 秋の季節を楽しみながら、大垣市中心部を流れる水門川を下る「水の都おおがきたらい舟」は、今年10月4日から11月16日までの土・日・祝日の12日間開催され、多くの乗船者で水門川一帯が賑わいました。

	実施日数	舟数	乗船者数
平成15年度	7	6	421
平成16年度	22	6	1,335
平成17年度	13	6	686
平成18年度	7	6	467
平成19年度	6	6	482
平成20年度	6	6	489
平成21年度	6	6	461
平成22年度	13	6	948
平成23年度	7	12	867
平成24年度	12	12	1,353
平成25年度	24	12	3,029
平成26年度	21	18	3,739

たらい舟の乗船客の経年変化
(乗船者数は、春・秋イベントの合計人数を示す)
出典：大垣市観光協会



■大垣観光協会 三浦事務局係長コメント

- 今秋は、台風の影響等で4日間イベントを中止しましたが、それでも期間中は、多くの個人客及び団体客の方々がお越し下さいました。近年の増客要因の1つに、大垣市をはじめとする西美濃圏域2市9町が、台湾旅行社関係者を招聘した誘客促進活動の成果が、少しずつ現れてきたものと感じております。
今後も、皆さんに楽しんでもらえるような企画を考えていきたいと思いますので、是非、また来春のたらい舟にお越し下さい。